

タブレットマルチピッキングシステム 導入事例紹介

～ タブレットと無線表示器を使用し、高い自由度と低コストをマルチピッキングシステムが実現！～

業種	3PL・総合物流業
取り扱い商材	食品・酒・他
出荷先件数/日	50～80件
出荷アイテム数	約15,000アイテム（単位：単品、ケース、ホール）

システム導入の背景

タブレットマルチピッキングシステムによる『設備費削減』への対応

新規導入システムの検討において、「既存設備の重量マルチカートシステムは、“高額な管理メンテナンス費の発生”と“作業制限による作業効率と自由度が低い”との悩みを持った状態紹介依頼があった。

弊社システムは高い実績を誇る自社製無線表示器とタブレット+ハンディーターミナル+ラベルプリンターを組み合わせは、容易なメンテナンス性と高い自由度（マルチ作業件数は任意で可変できる等々。）そして設備コストが評価され採用となった。

人手不足による『人件費負担増』への対策

仕分作業員の確保が困難である中、ベテラン作業員に頼った作業現場状況を一新したい要望もあった。

この要望に対し、①視認性が高い ②数字表示によるピッキング指示を行う この明確な指示を作業員に行える表示器がもたらす効果を評価いただき採用となった。

《その効果とは》

ベテラン作業員の『特殊性』に頼ることなく、作業を単純（標準）化する事で、作業精度の向上とスピードアップができた事。

”「誰でも即戦力」の実現化”です。

ご提案

■ タブレットマルチピッキングシステム DPS(摘み取りシステム)



《マルチカートの比較》

タブレットマルチピッキングカート	専用のマルチピッキング対応カート
カート本体は自由（上画像は6輪台車の改造）	専用設計の「既製品」また「出来合い品」
マルチ数も自由、お客様で任意に可変可能	固定されたマルチ数
各機器の設置場所も自由、後の設置位置変更も可	画面や表示関連部位は固定
故障の場合、故障した機材のみの修理でOK	故障の場合、カート1台単位での修理
故障の場合、予備品ですぐ復帰	故障の場合、カート修理で1台減状態になる

導入効果

課題	導入後効果
タブレットマルチピッキングシステムによる『設備費削減』への対応	システム本体価格及びメンテナンスにおける優位性がある事が明確になった。
人手不足による『人件費負担増』への対策	作業の特殊性を払拭し、作業の標準化を実現。初めての作業員も円滑に作業をできた事でスキルに縛られない多様な人材の活用が可能になった。

カートの紹介と作業フロー

今回、6輪カートを利用したタブレットマルチピッキングカート(3マルチ対応)の詳細とピッキング作業フローを紹介させていただきます。

《 ピッキングカートの詳細 》



《 ピッキング作業フロー 》

- ① タブレット画面の指示により対象商品があるロケーションに移動。
- ② ハンディーターミナルでピッキング対象品のバーコードを読み取る。
- ③ 表示器アクション
マルチ(今回は3店舗)の仕分け先に各1機取り付けてある表示器の対象仕分けのものが点灯+数量表示。



- ④ 表示器が光った場所のオリコンに、表示器に表示された商品数を投入。

- ⑤ 表示器アクション
商品投入後、点灯しているボタン部を押下し仕分け完了。



※以降①から⑤の繰り返し。